

第3回笠岡市総合計画審議会議事要点録

- 日 時：令和3年8月24日（火）14：00～16：00
- 場 所：笠岡市民会館 第1会議室
- 出席委員：13名
小林会長，大嶋副会長，浅野委員，石井委員，奥野委員，小寺委員
玉置委員，中川委員，鳴本委員，能島委員，東山委員，松尾委員
三島委員
- オブザーバー：2名 大本市議，栗尾市議
- 内 容：下記のとおり

1 議 事

(1) 第1章，第2章の修正点について

事務局より説明

【1-1 企業誘致の推進と雇用創出】

委 員：企業誘致の成果について，積極的な企業誘致を4年間で進めていくべき。

担当部署：土地利用の見直しのため，マスタープランの修正をしている。今後の土地利用について，さらに深めていく。

委 員：物流のための施設の誘致の確保を予定しているのはわかるが，その周辺に港町のような工業用地を確保する予定はないか。

担当部署：市街地に近いところもあるので，住環境を考えながら進めたい。マスタープランの中に，ICを中心として半径1キロ圏内で緩和を考えている。大きく土地が取れるところは工業団地として検討するが，色々な条件を考えながら，工業誘致につなげていきたい。

【1-5 観光振興】

委 員：修学旅行で島に来られるとき，ホテルで決まった料理を食べるのではなく，民宿で〇〇さんの手料理が食べたいなど希望があり多様化している。多様化した修学旅行に対応した体制を作るといった内容を記載してもらえればと思う。

担当部署：民宿にも泊まっていただけることを考えに取り入れながら，総合計画の実行

に移していきたい。

【2-5 離島振興】

委員：離島振興の中にも、1-5観光振興に記載されているような周遊について記載してはいかがか。

担当部署：取組に追記することを検討したい。

(2) 第3章，第4章について

事務局より説明

【3-1 子ども・子育て環境の整備】

委員：達成目標3について、「就学前教育・保育施設への就園率」「放課後児童クラブの入所率」は、希望されているなかで、入所できた方の率なのか。施設に行きたい方がどれだけ行けているかを目標にするべきだと思う。

担当部署：児童の数に対して、利用している方の率。待機児童はいない。

【3-2 学校教育の充実】

委員：基本方針内「就学前から義務教育へのつながりを大切にし…」とはどういうことか。

担当部署：就学前教育という表現が適切と思う。

【3-4 スポーツの振興】

委員：高齢者の生きがいづくりを含めた健康を目指す生涯スポーツとは何か。

担当部署：お年寄りがしやすく、誰でもできるスポーツ。

委員：100歳体操は入っていないか。

担当部署：ここには入っていない。4-5に入れている。

【3-6】人権・男女共同参画・平和

委員：女性の方が地域活動は活発にしていると思う。男性の方が低いことはないか。男性の方にも指標を設けた方が良いのでは。

担当部署：好きな活動には、女性も参加しているが、地域の方針決定など、リーダーシップをとって発言することになるとためらう方が多い。これは女性、これは男性

といったように色分けされることが多いので、分け隔てなくみなさんに参加してもらいたいと考えている。

委員：「L B G T Q」となっている。「L G B T Q +」となっている標記を見ることがあるが、+は記載した方がいいのかどうか。

担当部署：「L G B T Q」までにとどめておく。

【4-4 障がい者・障がい児福祉の充実】

委員：P90に記載している「農福連携を促進する」とは、主要事業はどこに当たるか。

担当部署：主要事業については記載していないが、「障がい者就労促進事業」に属する。わかりにくいので、個別で記載する。

【5-1 情報・プロモーションの推進】

委員：P119 達成目標②について。Wi-Fi 設置箇所数について、もっと増やすべきではないか。

担当部署：予算を踏まえて動くべきものは、資金のやりとりもあるためこのままの数字でいく。箇所数は増えるが減るものではない。民間投資に負けないようなスピード感で整備できる範囲で整備していきたい。

委員：第1, 2章には、D Xについて記載があるが、第3, 4章にはない。

担当部署：予算編成方針のなかで事業化できるものについて、事業化をし、反映していくというプロセスになる。できないものについては記載できない。前半はある程度実現化できるもの。

(3) 総論について

政策部長より説明

委員：耕作放棄地について、行政で環境整備をしてほしい。

担当部署：若い人が減るなかで、農地維持が難しくなっている。国・県に相談、働きかけをしながら、みなさんの意見を伺いながら対策していきたい。

委員：P1にある、「創生総合戦略の4本柱」とは何か。基本構想の中にも4本柱というのがあり、わかりにくい。4つの基本目標といった記載がよいのではないか。

担当部署：分かりやすいように修正する。

委員：P26の記載の評価について、当初の目標から比べての評価か、目標を修正した後の評価か。コロナ禍で、D評価が0というのは、もともとの目標が低かったのではないかと感じる。どういう評価をしたのか教えてほしい。

担当部署：実施計画は毎年見直しをしている。かけた予算に対してのアウトプットはどうだったかを3日間かけて評価をしていただいている。ローリング方式によって年度年度の見直しをしている。現在は、令和2年度1年間の実施計画の評価となっている。

評価が甘いのではという点については、外部委員よりチェックシートを用いて、かなり厳しい意見をもらいながらの評価。幹部職員も会場に出席し、評価のみならず、意見を受けながらフィードバックしている。

委員：市民意識調査は18歳以上になっている。総合計画は8年計画であり、高校生などの意見の反映はどのようになっているか。

担当部署：2年に1回、市民意識調査を行っている。第7次総合計画の全体計画を策定した際に、高校生にワークショップをして前期計画の資料編に記載しているが、今後の笠岡について整理している。2050年までにこんな笠岡にしたいなということ項目ごとに標記している。第8次総合計画を策定するときにも積極的に載せていきたいと考えている。

委員：P1「市民福祉を向上させる…」とあるが、正のスパイラル新殿にあるような「稼ぐ」といったものなどはどうなるのか。

担当部署：ここでいう福祉は、障がい福祉などに限ったことではなく、英語でいう“welfare”という市民全体の福祉という意味を込めている。

【全体】

委員：総合指標の目標について、2020年はコロナ禍の影響を受けていると思う。目標値が見合うものであるか判断するときに、2020年以前のものがなければ、検討しづらい。パブコメの時は、コロナ禍の影響を加味した目標であることがわかるように指標を出した方がいい。

担当部署：パブコメの際には、分かりやすいようにする。

委員：〈主な関連計画〉について、計画期間も切れているものがあるが、これは記載し

ておくべきものなのか。

担当部署：確認，修正する。

委員：市民意識調査の結果をどれほど，事業に反映してくれているのか。

担当部署：総論の説明。市民意識調査の結果を反映できるように対応していきたい。

(4) その他

コロナ感染症対策のため，審議会の回数を減らしている。意見の機会を確保するためにも，Eメールでも意見を受け付けている。今回の意見は，修正して来月からパブリックコメントを開始する予定。